

ファイル名：選挙投票所入場券データ

No.	項目名	属性	位置	初期値	編集内容	編集方法	出力元テーブル名
1	市町村コード	9(05)	1	00000	自治体の管轄コードを設定	前ゼロ	管轄マスタ
2	投票区コード	9(03)	6	000	投票区コードを設定	前ゼロ	永久選挙人名簿履歴テーブル
3	ページ番号	9(05)	9	00000	永久選挙人名簿の抄本のページを設定 抄本のページと一致させる 桁あふれ時はオーバー分をカット	前ゼロ	選挙名簿テーブル
4	ページ内連番	9(02)	14	00	永久選挙人名簿の抄本の番号を設定 抄本の番号と一致させる 桁あふれ時はオーバー分をカット	前ゼロ	選挙名簿テーブル
5	世帯番号	9(08)	16	00000000	世帯番号を設定	前ゼロ	人履歴テーブル
6	郵便番号	X(08)	24	半角スペース	郵便番号を設定 ※共通パラメータの転出表示者の宛先が「2:転出先住所」の場合、転出表示者に対しては転出先の値を設定(転出確定地があれば転出確定地を出力し、なければ現住所を設定)	後半角スペース	人履歴テーブル 住民票履歴テーブル
7	住所町村名	X(32)	32	全角スペース	住所町村名を設定 ※共通パラメータの転出表示者の宛先が「2:転出先住所」の場合、転出表示者に対しては転出先の値を設定(転出確定地があれば転出確定地を出力し、なければ現住所を設定) 桁あふれ時はオーバー分をカット	後全角スペース	人履歴テーブル 住民票履歴テーブル
8	住所字名	X(60)	64	全角スペース	住所字名を設定 ※共通パラメータの転出表示者の宛先が「2:転出先住所」の場合、転出表示者に対しては転出先の値を設定(転出確定地があれば転出確定地を出力し、なければ現住所を設定) 桁あふれ時はオーバー分をカット	後全角スペース	人履歴テーブル 住民票履歴テーブル
9	住所番地	X(40)	124	全角スペース	住所番地を設定 ※共通パラメータの転出表示者の宛先が「2:転出先住所」の場合、転出表示者に対しては転出先の値を設定(転出確定地があれば転出確定地を出力し、なければ現住所を設定) 桁あふれ時はオーバー分をカット	後全角スペース	人履歴テーブル 住民票履歴テーブル
10	方書	X(80)	164	全角スペース	方書を設定 ※共通パラメータの転出表示者の宛先が「2:転出先住所」の場合、転出表示者に対しては転出先の値を設定(転出確定地があれば転出確定地を出力し、なければ現住所を設定) 桁あふれ時はオーバー分をカット	後全角スペース	人履歴テーブル 住民票履歴テーブル
11	宛名方書	X(80)	244	全角スペース	宛名方書を設定 ※共通パラメータの転出表示者の宛先が「2:転出先住所」の場合、転出表示者に対しては転出先の値を設定(転出確定地があれば転出確定地を出力し、なければ現住所を設定) 桁あふれ時はオーバー分をカット (第2版) 宛名方書に文字列が存在し、その文字列内に「様方」がある場合、宛名方書にセットする。「様方」がなく、かつ方書に文字列がない場合、方書に文字列をセットする。	後全角スペース	人履歴テーブル 住民票履歴テーブル
12	氏名	X(40)	324	全角スペース	氏名を設定 桁あふれ時はオーバー分をカット	後全角スペース	人履歴テーブル
13	カナ氏名	X(50)	364	半角スペース	カナ氏名を設定 桁あふれ時はオーバー分をカット	後半角スペース	人履歴テーブル
14	性別	9(01)	414	0	性別コードを設定(1:男, 2:女)		人履歴テーブル
15	投票所名	X(40)	415	全角スペース	投票所名をセット 桁あふれ時はオーバー分をカット	後全角スペース	投票区マスタ
16	投票所住所	X(80)	455	全角スペース	住所宛名編集プログラムを使用し、投票所住所町村名、投票所住所字名、投票所番地、投票所方書、投票所宛名方書を1行編集して設定 桁あふれ時はオーバー分をカット	後全角スペース	永久選挙人名簿履歴テーブル 投票区住所マスタ
17	世帯主氏名	X(40)	535	全角スペース	出力方法が通常の場合は世帯主の氏名を設定 出力方法がCSVの場合は初期値を設定 桁あふれ時はオーバー分をカット	後全角スペース	人履歴テーブル
18	投票年月日	9(07)	575	0000000	投票年月日を設定(和暦7桁)	GYMMDD	選挙マスタ
19	投票年月日曜日	X(02)	582	全角スペース	日付変換プログラムを使用し、投票年月日の曜日を設定 例)月、火、水、…		—
20	行政区名	X(40)	584	全角スペース	行政区名を設定	後全角スペース	人履歴テーブル 行政区マスタ
21	出力区分	9(01)	624	0	転出者入場券打ち分け用フラグ 6郵便番号で、転出先郵便番号を出力している場合は「1」をセットし、そうでなければ「0」をセットする。		—
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							

【例】入場整理券データ（出力ファイル）

